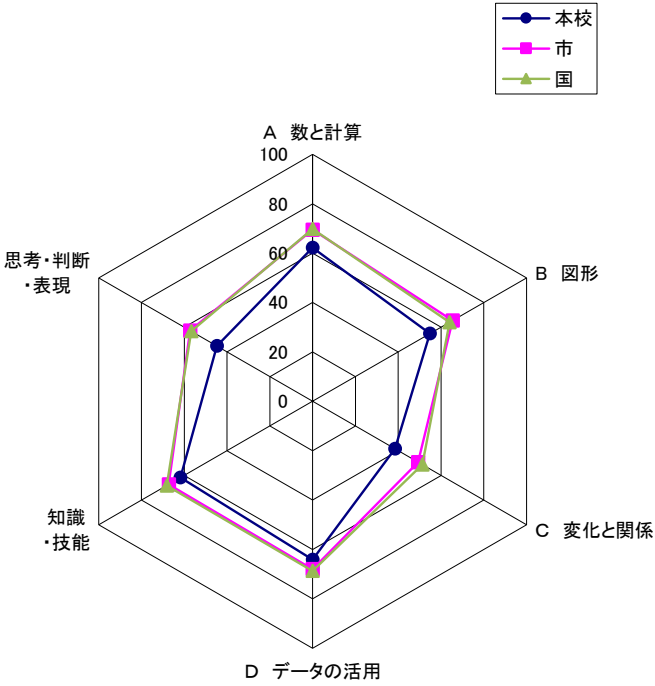


宇都宮市立桜小学校第6学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【算数】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	A 数と計算	62.2	69.5	69.8
	B 図形	54.8	65.4	64.0
	C 測定			
	C 変化と関係	38.5	49.3	51.3
	D データの活用	64.1	68.0	68.7
観点	知識・技能	61.8	67.3	68.2
	思考・判断・表現	44.8	57.3	56.7
	主体的に学習に取り組む態度			



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
A 数と計算	○被乗数に空位のある整数の乗法の計算の平均正答率は、2ポイント程度県や国を2ポイント上回った。 ●加法と乗法の混合した計算式についてに課題が見られる。	・基礎的な計算については、スマイルネクストドリルを活用しながら学校や家庭でのドリル学習に繰り返し取り組むようにし、確実に身に付けられるようにする。 ・見直しや確かめ算に取り組む機会を繰り返し設定し、定着を図る。 ・朝の学習の時間や学習がんばり週間に、小テストやステップアップテストを実施し、計算技能の定着を確認しながら指導を行う。
B 図形	●図形を構成する要素について着目して、長方形の意味や性質、構成の仕方の理解に課題が見られる。	・ICTを活用し、図形について既習事項を確認する機会を設けるとともに、図形の性質や構成の仕方について視覚的に捉えさせ、理解を深めることができるよう指導する。
C 変化と関係	●百分率で示された割合を分数で表す問題や、伴って変わる二つの数量の比例関係に関する問題に課題が見られる。	・割合や比例に関する学習課題に繰り返し取り組ませるとともに、概念について視覚的に捉えさせたり、日常における具体的な場面を例示したりして、実感的に捉えられるよう指導する。
D データの活用	○分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え考察する問題は、県や国の正答率と同等であった。	・円グラフや表の基本的な読み取りについては、算数だけでなく社会や理科など他教科においてもグラフや表に触れる機会を意図的に設定する。また、数値を読み取ったり、変化の傾向を捉えたりしながら学習課題に取り組ませて、グラフを読み取りデータを活用する力を高めていく。